

2024-2025

Rotary

第2760地区 豊橋ゴールデンロータリークラブ

WEEKLY

例会場 ロワジールホテル豊橋 TEL.0532-48-3131  
 事務局 豊橋市藤沢町141  
 ロワジールホテル豊橋本館9階 926号室  
 TEL.0532-35-9973 FAX.0532-39-3743  
 http://www.toyohashi-golden-rc.gr.jp  
 email golden@toyohashi-golden-rc.gr.jp

ステファニー A. アーチック会長  
 RIテーマ

吉川公章ガバナー  
 地区方針

本多英司会長  
 クラブ方針

THE MAGIC OF ROTARY

魅力あるクラブ 持続可能な奉仕活動  
 成長するロータリー

選ばれるブランドを育てよう

第29回(通算1687回)例会報告	令和7年2月14日(金)	国際奉仕担当例会
ゲスト	半田RC 松石奉之氏	
出席報告	総会員数54名(計算会員数48名) 欠席10名 出席率79.17% 前々回修正出席率89.80%	
歌/会場	それこそロータリー	会場: ロワジールホテル豊橋 30F「ル・モン」12:30~

## 会長の時間

本多英司会長



みなさんこんにちは。

最近道路の陥没などインフラに関するニュースが多いです。蛇口をひねれば水が出るのが当たり前、水洗トイレのレバーをひねれば下水が流れるのが当たり前、となっている日本の優れたインフラ設備も、それが当たり前でなくなった時に、本当のありがたみが分かりますね。

世界では、その当たり前のことができていない国や地域がたくさん存在しています。そんな地域の役に立つために、世界中のロータリアンたちが努力しています。

今日はそういうロータリアンの一人である半田 RC の松石様をスピーカーとしてお招きさせていただきました。松石様、今日はよろしくお願いたします。詳しいご紹介はこのあと村松委員長からありますので、お願いたします。

年度当初からご案内している通り、今年度は、私たちのクラブで初めてとなるグローバル補助金事業にチャレンジしています。詳細については村松委員長にお任せするとして、今日は過去、豊橋 GRC がどのような国際奉仕事業をしてきたかを少しご紹介してみます。

私は2009年入会なので、それ以前の事は経験していませんが、資料に基づきお話ししますので、もし間違いがあったら、あとで、優しく教えてください。

豊橋 GRC は1988年に創立されました。当時は「世界社会奉仕(World Community Service)」通称「WCS」というプログラムがロータリーに存在していました。このプログラムは1962年に当時のRI会長が提唱し、ロータリアンによる人道主義に基づいた金銭的援助を可能にしたものだそうです。

当時は当クラブも地区のWCSへの協賛(資金協力)が主流だったようで、6年間ほど地区のWCSへ協賛しています。協賛先は全てフィリピン第3810地区でした。

その後は、地区WCSから離れ、クラブ単独事業へ移行していきます。対象国はやはりフィリピンが多く、6年ほど続きました。この時は資金協力という形ではなくて、通算6年間で消防車5台、救急車を3台、心電図1

台、レントゲン1台、注射器5000本以上、を寄付しました。これらは実際にフィリピンへ赴き、お渡ししてきた、と、聞いています。途中、ニカラグアの病院へ車いす5台を寄付したこともあります。

私が入会以降は、元米山奨学生の方の地元である、ラオスの小学校へ足を運んで、学用品を寄贈したり、豊橋に留学している学生と教師を集めて交流会を行ったりといった事業がありました。

その後しばらく災害支援や義援金などの活動が増え、さらに2020年からはコロナで活動自粛などがあり、実際に海外に行って活動する事はありませんでした。

そしてコロナ明け、2022-23年度に再び積極的な国際奉仕活動が可能となり、記憶にも新しいと思いますが、フィリピンの都市部ではない(田舎の)小学校へ「水と衛生」にかかる事業を実施しました。この事業はとても好評で、まずはその地区を管轄する役所へ表敬訪問して歓迎され、さらに現地の小学校では、生徒さん、先生方、親御さんたちが一堂に集まり、飲めや歌えの大盛り上がりセレモニーで迎えてくれました(もちろんアルコールはなしでしたが)。

翌年、「是非今年も来てほしい」と当時委員長だった保永さんへ打診がありましたが、翌年は翌年で既に事業が決まっていたため、泣く泣く見送った次第です。

しかし、そこは当クラブ1、情に厚く、あきらめの悪い保永さんですから、いずれまた何らかの形で実行されると思います。

その翌年2023-24年度は、ベトナムで「基本的教育と識字率向上」の活動として、ベトナムの少数民族が多く暮らす町の小学校へ、70台の自転車を寄付しました。そこは小さな小学生が片道2~3時間歩いて通学するのがザラにある地域で、それがために十分な教育が受けられず、貧しい負の連鎖が生まれているという地域です。この事業もものすごく好評で、大きな歓迎を受け、地方政府のトップもセレモニーに出席されました。1年経った今、現地の方に確認したところ、学校、親、子供達、政府の方から、自転車で学校へ通えることで大変便利になり、通学時間が3分の1以下になってとてもありがたく、勉学に励む子供達が多くなった。特に、自転車で

通学している生徒は、元気な子供たちが増えた、と報告を受けております。これは、現地の教育委員会のフォンさんからのご報告でした。

こちらにも責任感あふれる鈴木のおあき(当時)委員長と、ベトナム大好きで4回も訪問した高井(当時)幹事は、何らかの形で継続する方法を考えているようです。

冒頭述べた通り、世界中のロータリアンが、様々な場所で地域のためになる活動をしています。私たちの活動はクラブ単独事業でしたが、2020-21年に活用されたグローバル補助金は総額200億円に達するそうです。

奉仕の気持ちに事業の大小はありませんが、何か一つでも、どこかの地域のためになる事をしたいと思っています。それに世界120万人にのぼるロータリーのネットワークを活用できればさらにワクワクします。

今日は、その経験をお聞きできる機会をいただき、村松委員長にも松石様にもとても感謝しています。

あらためて、今日はよろしくお願ひいたします。

以上、会長の時間でした。ご清聴ありがとうございました。

続きまして6ページの「ロータリーとは」をしっかり読んでいただきたいと思います。

2月は「平和構築と紛争予防月間」です。8~17ページの「スタートレック」ヒカル・スルーが歩む道“差別・闘い・そして未来への夢”。日系アメリカ人の映画俳優 ジョージ・武井氏に、聞き手 第2580地区直前ガバナー 中曽根牧子氏がインタビューした記事があります。

「1966年に放送が開始された『スタートレック』。宇宙船エンタープライズ号の乗組員たちは異なるバックグラウンドを持つが、違いを尊重し合い、困難な状況下でも協力して解決策を見つけていく。その操舵士、ヒカル・スルーを演じたジョージ・武井さん。しかし、ドラマの世界とジョージさんがたどる人生は異なるものであった。幼少期に強制収容を経験、その後もさまざまな困難を乗り越えてきた彼が今思うことは？ アメリカロサンゼルスにあるリトル東京でロータリークラブを創立した、中曽根牧子さんがインタビューした。」で始まる記事は一読に値するものです。

続いて19~27ページの「ロータリー研究会レポート」、29~31ページの「END POLIO NOW」と、32~35ページの「ガバナーのロータリーモメント」には各地の取り組みが掲載されています。

46ページの「地区大会略報」には、2760地区の地区大会ホストの春日井RCの投稿文が載っています。

36~37ページに「THE PARTNER (公財) ロータリー米山記念奨学会」の記事があり、38~39ページには奨学生の投稿文があります。

奨学生は文化の違う場所で社会的な孤立感、学業や日常生活のストレス、多くの心理的な挑戦を経験します。学生への心理的支援の重要性を強く感じた、とまとめています。

さて当クラブはモンゴル出身のツォルモン・アリウナーさんを受け入れています。たまたま(私は)カウンセラーを担当させていただいていますが、クラブとして受け入れている彼女にたいして各会員の(会員皆様の)温かな対応を期待します。

縦組4~8ページの「SPEECH」~映像ディレクター・作家の渡辺孝氏の「“言葉を守る” テレビディレクターの考える戦争」と、9~12ページの「この人を訪ねて」~久留米中央RC会長の曾文顕さんの投稿も合わせてご一読ください。

最後に、15ページには豊川RCの鈴木操子さんの川柳が載っています。2760地区からはこの方だけが掲載されています。

16~21ページの「友愛の広場」「卓話の泉」「あるある相談室」「声」は読みやすいものだと思いますので是非ご覧ください。

以上です。

## 誕生日祝い

お誕生日おめでとうございます!



宮川直樹会員

小笠原英彦会員

## 入会記念日祝い



白井正樹会員

岡本久永会員

## ロータリーの友読みどころ

### 真野善和雑誌委員



『ロータリーの友』2月号の紹介をさせていただきます。

まず横組5ページ、RI会長のステファニーA.アーチックさんの「希望と変化の波及」をご一読下さい。

ロータリーの中核的な使命を支えるロータリー平和フェロシップについて記されています。



## 国際奉仕担当例会 「ブータン王国に捧げる熱き想い」 ～グローバル補助金事業を活用した ブータン王国へのご支援の意義～



**村松 光国際奉仕委員長**  
本年度のクラブ方針「選ばれるブランドを育てよう」のもと、現在、皆様ご承知の通り、当クラブ初のグローバル補助金事業の実施に向け、苦しみながらも歩を進めています。

本例会は、グローバル補助金事業のきっかけをいただき、ブータン王国との懸け橋となった半田 RC の松石奉之様から、以前半田 RC として実施されたブータン王国でのグローバル補助金事業の詳細説明とその支援の意義、そして現在でもライフワークとして引き続きブータン王国を支援されている活動内容と熱き想いのお話を伺いたいと思います。

本卓話にて、当クラブ内の意識醸成につながり、選ばれるブランドを育てることの大きな一助になると確信いたします。

松石奉之様の主な経歴をご紹介します。半田 RC 所属で(株) マツイシ楽器店の代表取締役会長です。平成 6 年に半田商工会議所青年部会長を務められ、半田ブータン青少年交流協会の参与、半田ジュニアブラスカンパンドの代表理事、令和 2 年に半田 RC 会長、令和 4 年より半田商工会議所の会頭を務められています。



### 半田ロータリークラブ 松石奉之氏 ■半田市並びに半田 RC とブータンとの関係について

#### 半田市並びに半田RCとブータンとの関係①

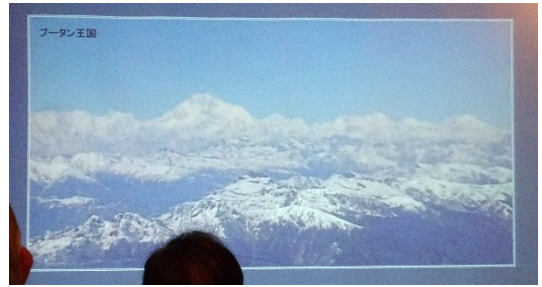
事業年度	内容	事業費	取組団体
2004年	愛・地球博開催にあたりブータン王国と半田市はフレンドシップ相手国となった		半田市
2004年	ブータン王国の招聘により半田市より市民訪問団が初のブータン王国訪問		市民訪問団
2005年7月1日	愛・地球博ブータンパビリオン建設の加工さん達大工さんたちの宿舎に青唐辛子など食料品の提供		半田国際交流協会
2005年3月1日	ブータンパビリオンに不足した様々な物資を半田市の有志より提供 大型TV・ロッカー・炊飯器・展示台、など また、パビリオンの発着止面上部への旗の設置などにも協力 43日/約180日		半田国際交流協会
2005年6月1日	愛・地球博にてブータンナショナルデー開催(半田市からも多くの幼稚園児などが参加) 3000人収容のエキスポドームを満席にし、松石がブータンナショナルデーの司会を務めた。 ブータンロイヤルアカデミーオブアーツ (RAPA) 一行が半田市で講演を開催。		半田国際交流協会
2005年9月1日	愛・地球博閉幕、閉幕後ブータンパビリオンの撤去並びにパビリオン内の仏像売却に助成		松石
2008年	半田国際交流協会と半田ロータリークラブ合同で、再度ブータン訪問 半田ブータン青少年交流協会の設立に合意		半田ロータリークラブ

#### 半田市並びに半田RCとブータンとの関係②

2008年9月24日	半田ブータン青少年交流協会設立 プロ Dmash小学校～福井寄贈	¥100,000	半田ロータリークラブ事業
2009年7月1日	ブータン青少年招請(学生3名と教師1名)	¥500,000	
2010年7月1日	半田市民訪問団と半田の学生がブータンを訪問		
2010年7月2日	愛知方種フレンドシップフェスタにブータンブース出展		
2010年7月1日	ブータン青少年招請	¥500,000	半田ロータリークラブ事業
2012年	新美南吉英訳本 図書寄贈		
2012年2月1日	国際 R C 2760地区がリオパス委員会ブータン訪問	¥220,583	半田ロータリークラブ事業
2012年7月1日	半田市市民訪問団と学生3名がブータン訪問		
2013年7月5日	ブータン青少年招請	¥500,000	
2014年7月1日	ブータン青少年招請(学生3名と教師1名)	¥500,000	
2014年	羽撃男勝 (Nancho Mimi)	¥550,502	
2015年7月1日	ブータン青少年招請(半田RC合同)	¥1,889,344	
2015年8月1日	半田市民訪問団と学生3名がブータンを訪問/シュムガン県ゴレン村に「太陽光電磁柵2km四方を設置」	¥1,044,669	半田ロータリークラブ事業
2017年7月1日	ブータン青少年招請	¥500,000	
2018年8月1日	市民訪問団4名と半田RCメンバー11名がブータンを訪問 Tingtingbi : Farm Tractor, Gephrai : Solar Fencing, Tsimasham Agriculture Marketing Van	¥11,677,223	半田ロータリークラブ事業
2020年	滝澤庫・遠心分離機	¥2,771,280	半田ロータリークラブ事業
2024年8月18日	Handa ジョニアアスバンド初のブータン訪問 ブータン協平中財団へ小型救急車寄贈	¥1,250,000 ¥21,803,601	半田ブータン青少年交流協会

半田 RC のブータンへの貢献費用 ¥15,813,755

### ■ブータン王国について



ジグメ・シンゲ・ワンチュク第4代国王



ジグメ・ケサル・ナムゲル・ワンチュク国王夫妻(第5代)



ブータン王国 国旗



リンポチエ(高僧)

### 国民総幸福量とは

- ・第4代国王ジグメ・シンゲ・ワンチュク国王(16歳)が提唱
- ・近代化するが西洋化はしない
- ・GNP(国民総生産)より、GNH(国民総幸福量)
- ・足るを知り智慧に生きる
- ・国家の安寧、安全保障(中国とインドに挟まれた小国が故に)
- ・それを測る尺度
- ・「経済的自立」「環境保護」「文化の推進」「良き統治」行政と国民双方の意識を改革  
心理的幸福・健康・教育・文化・環境・コミュニティ・良い統治・生活水準・自分の時間の使い方  
(2008年採択推定ブータン憲法に明記 GNH委員会委員長テンレイ首相)
- ・1999年「平和、反映と幸福のためのビジョン」
  - 1.ブータン人としてのアイデンティティの確率
  - 2.統一と調和
  - 3.主権と安全保障のための安定
  - 4.自立
  - 5.社会、財政、経済、文化、そして環境面での持続性
  - 6.柔軟性

### ■半田 RC とティンブー RC との出会い・地区補助金の取り組みについて

#### 半田ロータリークラブとティンブー RC との出会い・地区補助金の取り組み

2012年  
ティンブー RC 設立(国際ロータリー会長自らがブータンを訪れ、認証式に出席)



同年7月ティンブー RC に初の海外 RC として訪問(半田 RC 松石)

2015年  
ティンブー RC 当時の幹事 Yeshey Dorji 氏よりブータン僻地農業支援の打診を受ける



2016年  
半田 RC が地区補助金を活用し、シュムガン県ゴレン村に「太陽光電磁柵2km四方を設置」

事業目的: 農作物が害獣に荒らされ、収穫率が非常に低い田畑を電磁柵で害獣侵入を防ぎ、農業生産性を上げる

効果: 農業生産性が低いため、自給自足生活が基本であったゴレン村の農業生産性が飛躍的に向上し、農作物を域外にも販売できるまでになった



■ 地区補助金事業後に半田 RC が取り組んだグローバル補助金の経緯について

地区補助金事業後に、半田ロータリークラブが取り組んだグローバル補助金の経緯

2016年の地区補助金活用の農業支援で大きな成果が出たとの報告  
 ※ 農業生産性の著しい向上により若者のUターンが始まり、農業従事者も増えた

↓

2017年：ティンバーRCより、他地区僻地の大規模農業支援の要請を受ける

↓

半田RCに理事会にて協議・承認を得て「グローバル補助金事業」として大規模支援を決定  
 しかし、ティンバーロータリークラブが、ロータリー財団の研修を受けていなかったことが発覚

↓

2017年：ネパールの地区財団委員長がティンバーRCに対し特別な財団セミナーを開催

↓

2018年2月：ティンバーRCのグローバル補助金事業への取り組みが承認

承認後の3月から農業支援プロジェクトが開始

2018年8月：半田RCメンバーがブータンの3地域の僻地地域へ分散訪問し、太陽光電磁槽20km四方やトラクター耕運機・生産品運搬用トラック・温室などの寄贈式を開催

その後も、農業機械の操作や維持管理のためのトレーニングがおこなわれている



■ 何故、今回半田 RC はグローバル補助金に手を挙げなかったのか？について

何故、今回半田ロータリークラブはグローバル補助金に手を挙げなかったのか？

- 2019年：ティンバーRCより、僻地地域への公衆トイレ寄贈の申し出  
地区補助金活用による補助金事業を準備
  - 2020年：コロナパンデミック（ブータンはロックダウンが長期にわたり続いた）  
ティンバーRCより「トイレ寄贈」事業を「コロナワクチン貯蔵の冷凍庫」の必要性があり、打診 → 理事会緊急協議
  - 2020年：半田ロータリークラブ創立70周年（会長＝松石）記念事業の一環として「冷凍庫」等の寄贈を実施
  - 2023年：ティンバーRCより「パロのゴミ処理課題解決」の打診 → 理事会に協議案件として上程  
同時に、元ティンバーRC幹事のYeshey Dorji氏よりブータン脳卒中財団への小型救急車寄贈の依頼
- 理事会協議…一部メンバーから「国際奉仕がブータンに届っていないか？」「ブータンに支援しても、支援に関わったメンバーのみが評価されるのでは？」等の後ろ向きな意見・協議先送り
- ↓
- 理事会メンバーではない松石は、クラブの総意が得られない状況での事業実施は無意味と判断
- ↓
- 地区財団並びに補助金委員会に相談 → 豊橋ゴールデンロータリークラブ様からお引き受けのご意向を戴く
- ※ 小型救急車寄贈事業は「半田ブータン青少年交流協会」と「半田国際交流協会」でクラウドファンディングを活用実施  
 ※ 2020年催行予定だった「半田ジュニアプラスバンドブータン親善演奏旅行」がコロナ禍で延期になっていたことも併せて、「親善演奏旅行」と同時に小型救急車寄贈事業を実施  
 ※ 村松光様にブータンへご同行いただき現地調査を実施して頂いた

★ニコボックス

松石奉之様(半田): 卓話にお招き頂きありがとうございます。グローバル補助金のお取り組みに大変感謝申し上げます。本多英司・鬼頭秀幸: 松石様ようこそ。卓話をとても楽しみにしています。よろしくお願ひ。

村松 光: 松石さんようこそ。遠い所ありがとうございます。本日はよろしくお願ひ。

小笠原英彦・宮川直樹: 誕生日をお祝い頂き。

岡本久永・白井正樹: 入会記念日をお祝い頂き。

真野善和: ロータリーの友の紹介をさせて頂き。

牧 岳大: 先週の地区出向者報告。拙い話にお付き合ひ頂きありがとうございます。

★幹事報告

・日台ロータリー親善会議札幌大会のご案内、ハイライトよねやまが届いております。

グローバル補助金 7つの重点分野とパロゴミ処理課題解決の意義

- 平和の推進
  - 疾病との闘い
  - 水と衛生
  - 母子の健康
  - 教育の支援
  - 地域経済の発展
  - 環境の保護
- パロのゴミ課題の要因
- 都市部(特に首都ティンブーへの若者の流入)
  - 首都ティンブーの失業率の増加に伴い、第2の都市パロへの人口流入
  - コロナパンデミック後の観光人口の増加
  - 人口の急激な増加にゴミ処理能力が追いついていない(ゴミ処理システムが確立されていない)
  - ゴミ捨て場不足によりゴミが山積み(市民ボランティアが回収→地中埋設)
- ↓
- バクカー車導入によるゴミ回収システムの確立
  - 市民の環境対策意識の醸成
  - 衛生環境の整備による疾病の予防
  - 清潔な街への観光客誘致による地域経済発展の支援

豊橋ゴールデンロータリークラブ様として、グローバル補助金の目的の4つの項目を実現する「真の世界奉仕」の実現

■ 何故、私(松石)がブータンに熱い思いがあるのか？について

何故、私(松石)がブータンに熱い思いがあるのか？

- 愛・地球博での交流…日本人に共通する礼節を重んじる態度
- GNHを基本とするブータン人の生き方(国民の国王に対する絶対的な信頼)
- 日本人が学ばなければならないと感じる「足るを知り智慧に生きる」姿
- コミュニティの豊かさ(みんな知り合い)
- 発展途上国であっても汚穢度が低い(2021年 25位/180か国中)…(日本18位)
- ルーズな一面もあるが、物事をやり遂げる信念を持っている
- 向上心(進歩的な)と伝統を重んじる姿勢のバランス 2024年12月17日ブータン王国建国117回記念日 第5代国王の「ゲレフミッドフルネスシティ建設計画」の発表 新たなブータンの進化

日本の経済的な豊かさは恒常的に保証される？ これから日本人が生きていくうえで学ばなければならない精神性  
 今、日本の若者に欠けているブータンの若者の「目の輝き」  
 小国でありながら注目されるブータン…これからの発展の行方は未来の国の理想の姿？

幸福の価値観

- 自分のために祈らない
- 来世のために祈る。世界のために祈る
- 家族や親しい友達が幸せで、一緒にいられる
- 自分の幸せを探しては、それは見つからない
- コミュニティのちから
- 肩の力を抜いて
- 生きていることの喜び
- 節度・思い遣り・足るを知る
- 小さな幸せ

山本雅久・岡本久永・井上 穂・杉田和俊・辻 信之・高井龍雄・加藤ゆり子・牧 岳大・青山泰三・今川明彦・伊藤角栄・鈴木紳昭・鵜殿健次・太田和彦・酒井正樹：村松委員長がんばれ。ブータン行くぞ。

山口幹夫：例会出席に会員の支援に感謝致します。

尾崎雅輝：鬼祭で赤鬼に足を傷つけられた司天師の大役を務めさせて頂き。

鵜殿健次：元気ですか！のんほいパークに孫と行きました。アジアゾウがいっぱいいました。中でも繁殖旺盛なたかい君が元気でした。子孫繁栄がんばれたかい君！がんばれドラゴンズ！  
井上 穂ニコボックス委員

★他クラブの例会変更

- 2月26日(水) 渥 美RC 菜の花・桜まつり(3/1㊦)
- 2月27日(木) 豊 橋RC クラブフォーラム
- 2月28日(金) 蒲 郡RC 小松RCとの交流会
- 3月 5日(水) 渥 美RC 菜の花・桜まつり(3/2㊦)
- 3月 6日(木) 田 原RC I Mのため